



令和4年度

学校だより

1月号

～ひとがすき まちがすき いわさきの子～

横浜市立岩崎小学校 電話 331-5123 FAX 331-5343

「ほ도가や 学校・まち 花いっぱい活動」

校長 小林 雅弘

新しい年、令和5年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成が終わり、新しい年号は何になるのかと考えていたのがつい最近のように感じますが、令和もすでに5年が経ったのかと、改めて月日の流れのはやさを実感します。自分が小学生の頃は、もっと時間がゆっくり流れていたように感じるのですが、歳を重ねれば重ねるほど、そのはやさが増しているように思えます。皆様はいかがでしょう。

以前に神奈川新聞やタウンニュース保土ヶ谷版にも記事が載っていたのでご覧になった方もいらっしゃるかもしれませんが、今年度の秋から、保土ヶ谷区の小中学校で「ほ도가や 学校・まち 花いっぱい活動」という取組をしています。これは、保土ヶ谷区の青少年の健全育成や、まちづくりに取り組むNPO法人「元気な地域人の会」*の発足10周年の記念事業として、区内小中学校の全27校で共通に取り組んでいる活動です。法人から各校5万円の寄附をいただき、「どんな花を育てるか」「だれが育てるか」「育てた花をどうするか」などを、子どもたちが主体となって計画します。サツキツツジ、シクラメン、ビオラ、プリムラ、ハナミズキ…、育てる花の品種も各校で様々です。中には周年行事の一環として、桜や紅梅の苗木を校内に植樹する学校もあります。

本校では、飼育・環境委員会の5・6年生が中心となって、代表委員会で提案をし、各クラスがプランターでパンジーを育てることに決まりました。技術員手作りのミニプラカードにクラス名やメッセージを自由に書いて、プランターにさします。同時に日頃からお世話になっている学校運営協議会の方々へのプレゼントとして鉢植えも育てます。花が見頃になったら、すべてのプランターを門や通学路に置き、「キラキラスマイルロード」をつくる予定です。

この活動を通して、身近な人々や社会、自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって生活を豊かにしようとする態度や、学級で責任をもって花を育てることにより生命を大切にしようとする心などを育てていきたいと思っています。



*NPO 法人元気な地域人の会 と「ほ도가や 学校・まち 花いっぱい活動」

岩崎小出身で元保土ヶ谷区長の金子宣治さんが理事長を務める特定非営利活動団体。保土ヶ谷区の青少年の健全育成や文化・防災等のまちづくりなどを支援する目的で2012年に設立された。地域の市民や企業経営者ら80人ほどの会員で構成され、今年で設立から10周年を迎える。

10周年の記念事業として、法人と保土ヶ谷区小学校長会、同中学校長会が前年度から話し合いを重ね、各校のアンケートをもとに、「区内全27校で一斉に花を栽培し、保土ヶ谷の学校やまちを花いっぱいにする活動」を進めることが決まった。法人から各校に5万円ずつの寄附をいただき、それぞれの学校で児童生徒を主体とし、地域やPTAと関わりながら栽培活動を行っている。活動のまとめとして法人が記念誌を発刊する予定。